

在宅医療等についての理解や知識・スキルの向上のための
各機関の取組

在宅医療等についての理解や知識・スキルの向上について

団体名：吹田市医師会

【平成29年度の取組み】

企画担当部署	取組み名	対象	内容	参加人数	開催日
吹田市医師会 高齢者対策委員会	在宅医療研修会(入門編)	在宅医療を始めてみたい医師	在宅医療の実施におけるポイント、保険請求、診療録記載、在宅療養支援診療所などの届け出、訪問看護・ケアマネジャーなどの多職種との連携等について概説。居宅管理指導の請求方法・必要書類などについても説明。	医師20人	H29.8.3
吹田市医師会 高齢者対策委員会	在宅医療同行研修	在宅医療を始めたい医師、実際の訪問診療を体験したい医師	訪問診療に同行し、在宅医療の実際についてマンツーマンによる研修。	医師9人	H29.1～12
吹田市医師会 高齢者対策委員会	在宅医療講演会 (在宅医療技術)	医師、薬剤師、訪問看護師、ケアマネジャー	モルヒネ持続皮下注射の実際 おきしろ在宅クリニック 沖代奈央先生	計39人 医師27名、吹田市役所、訪問看護師、ケアマネジャー、	H30.1.25
吹田市医師会 高齢者対策委員会	在宅医療講演会 (連携)	医師、薬剤師、訪問看護師、ケアマネジャー	大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 総合ヘルスプロモーション科学講座教授 神出 計 先生 演題 「Advance Care Planning について」	計39人 医師27名、吹田市役所、訪問看護師、ケアマネジャー、	H30.1.25
吹田市医師会 高齢者対策委員会	在宅医療講演会	病院医師、看護師、MSW、医師会医師、行政	大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 総合ヘルスプロモーション科学講座教授 神出 計 先生 演題 「Advance Care Planning について」	計41人 医師28名、吹田市役所5名、訪問看護師6名、その他	H30.2.15

【取組みを実施して感じられる成果】

在宅入門編の研修(入門編講義・同行訪問)を行い在宅医療の勧誘をした。新規開業医療機関の在宅時医学総合管理料算定届出(2件)
在宅患者の緊急入院において在宅療養後方支援病院の活用についての申し込み・必要書類、運用方法について周知した。
癌末期の疼痛管理や呼吸困難など必要な時に、モルヒネ持続皮下注射が在宅で実際に行える知識を得た。
人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドラインにあるように、アドバンス・ケア・プランニングを在宅医療・高齢者医療に導入する必要性が考えられた。

【平成30年度の実施予定】

医療機関間の連携の検討(代理など)
診療所間の連携・新規開業の医療機関を中心に在宅医療参入を勧める
在宅医療研修会(入門編)を引き続き実施
同行訪問研修を引き続き実施
在宅支援診療所の数を増やす・強化型で連携
Advance Care Planning導入

在宅医療等についての理解や知識・スキルの向上について

団体名: 吹田市歯科医師会

【平成29年度の取組み】

企画担当部署	取組み名	対象	内容	参加人数	開催日
地域医療部	歯科四木会	大阪府健康医療部保健医療室健康づくり課、大阪府吹田保健所、吹田市(吹田市保健センター、高齢福祉室)	歯科健診、訪問事業等について連絡、検討を行う	各回15人程	H29.4.13 H29.6.8 H29.8.3 H29.10.12 H29.12.14 H30.2.18
口腔ケアセンター	介護職向け口腔ケア実践講座	介護職等	介護にかかわる職種向けに、歯科医師より口腔ケアの重要性に関する講話、歯科衛生士より実際に実施できるよう口腔ケアの実習を行った。	3回で27人	H29.6.22 H29.10.26 H30.2.18
地域医療部	訪問歯科衛生士連絡会	訪問歯科衛生士	在宅寝たきり高齢者等訪問歯科健康診査事業充実のため	2回で36名	H29.7.1 H30.2.17
地域医療部	在宅訪問歯科症例検討会	歯科医師 歯科衛生士	在宅訪問歯科の症例を検討し口腔ケアの充実を目指す	2回で62人	H29.10.8 H30.3.21
地域医療部	健診説明会	歯科医師	各種健診について説明 その中で訪問歯科健診についても説明	107人	H30.3.14
地域医療部	新入会員健診事業説明会	新入会員(歯科医師)	各種健診、訪問歯科健診についても説明	2回で3人	H29.10.16 H29.12.19
地域医療部	健診事業スタッフ懇談会	地域医療部理事 歯科衛生士	各種健診、その中で訪問歯科健診についても検討	15人	H29.12.14

【取組みを実施して感じられる成果】

開業している歯科医師にとって、在宅医療はまだハードルが高い分野ではあるが、会員向けの取り組みを通して、意義や重要性の理解は深まっているものと思われる。

【平成30年度の実施予定】

平成29年度と同様の事業を企画している。

在宅医療等についての理解や知識・スキルの向上について

団体名：吹田市薬剤師会

【平成29年度の取組み】

企画担当部署	取組み名	対象	内容	参加人数	開催日
吹田市薬剤師会	吹田市薬剤師会研修会	薬剤師	チーム医療による経口抗がん剤のマネジメント	56人	H29.4.11
吹田市薬剤師会	吹田市薬剤師会研修会	薬剤師	在宅栄養療法	59人	H29.5.9
吹田市薬剤師会	吹田市薬剤師会研修会	薬剤師	胃癌の概要と薬物療法	60人	H29.7.11
吹田市薬剤師会	吹田市薬剤師会研修会	薬剤師	在宅医療で遭遇する皮膚疾患	57人	H29.9.12
吹田市薬剤師会	吹田市薬剤師会研修会	薬剤師	地域包括ケアを見据えた骨粗鬆症治療の意義	54人	H29.10.10
吹田市薬剤師会	吹田市薬剤師会研修会	薬剤師	高齢者の栄養管理とロコモ	35人	H30.2.13
吹田市薬剤師会	吹田市薬剤師会研修会	薬剤師	がんの傷みの薬物療法 WHO方式がん疼痛治療	47人	H29.9.26

【取組みを実施して感じられる成果】

在宅実施薬局のアンケートを今年度予定

【平成30年度の実施予定】

無菌調剤室利用者研修会
認知症対応力向上研修会
麻薬の適正使用

在宅医療等についての理解や知識・スキルの向上について

団体名：大阪大学医学部附属病院

【平成29年度の取組み】

企画担当部署	取組み名	対象	内容	参加人数	開催日
保健医療 福祉ネット ワーク	在宅医同行研修	新入職者、新しく当部署に異動してきた看護師	新人に対しては在宅医に1日同行研修をしていただき、そこで得た知識、スキル、考え方を退院支援に生かしてもらう。	6人	在宅医より指定された日

【取組みを実施して感じられる成果】

【平成30年度の実施予定】

在宅医療等についての理解や知識・スキルの向上について

団体名：国立循環器病研究センター

【平成29年度の取組み】

企画担当部署	取組み名	対象	内容	参加人数	開催日
看護部 専門医療 連携室	第3回 国循看護地域連携学習会	近隣の病院・診療所、介護施設、訪問看護ステーション等の看護師・介護職、ケアマネジャー、当院の看護師	1) 講義：「心不全の初歩から最新カテーテル治療まで」 2) 地域の担当者と病院看護師との意見交換 ～心不全患者の継続支援(事例検討)～	院外 57人 院内 56人	H29.9.15
看護部 専門医療 連携室	第4回 国循看護地域連携学習会	近隣の病院・診療所、介護施設、訪問看護ステーション等の看護師・介護職、ケアマネジャー、当院の看護師	1) 講義：「心臓移植と補助人工心臓の現状」 2) 事例報告：脳血管障害を合併した補助人工心臓装着患者の在宅調整 3) 地域の担当者と病院看護師との意見交換	院外 37人 院内 36人	H30.2.16

【取組みを実施して感じられる成果】

事例検討の場で、意見交換が進み、互いの状況理解が深まった。

【平成30年度の実施予定】

看護部で「地域連携リンクナース会」を継続し、患者の退院支援を充実するため、知識を深め、情報を共有するための検討を継続していく。
今年度も、国循看護地域連携学習会を2回実施する。

在宅医療等についての理解や知識・スキルの向上について

団体名: 済生会千里病院

【平成29年度の実施】

企画担当部署	取組み名	対象	内容	参加人数	開催日
患者支援センター	千里 在宅医療・緩和を考える会	豊能地域の在宅医療、介護関係者	心不全の在宅管理	164人	H29.6.22
患者支援センター	千里 在宅医療・緩和を考える会	豊能地域の在宅医療、介護関係者	在宅医とのチームの組み方	90人	H30.3.20

地域全体のネットワークの深化を目指している。問題点等を話し合うきっかけに成っているが、なかなか計画立案と問題提起、実際の変革に至っていない。

【平成30年度の実施予定】

千里 在宅医療・緩和を考える会は6月、11月に予定している。

在宅医療等についての理解や知識・スキルの向上について

団体名：大阪府済生会吹田病院

【平成29年度の取組み】

企画担当部署	取組み名	対象	内容	参加人数	開催日
地域医療 支援部門	在宅医療推進懇談会	近隣医療機関	『在宅医療推進に向けて、解決すべき 医療連携の課題を明らかにする』をテーマに、病診連携の課題をグループワーク形式で協議した。	16人	H29.6.10
	済生会吹田病院 ティータイムセミナー	近隣居宅介護支援事業所、地域包括支援センター	①②がん相談支援センターの役割(緩和ケア専門看護師、認定がん相談員らのレクチャーとグループワーク) ③「介護と医療の連携～ケアマネジャー・地域包括支援センター職員が済生会吹田病院に期待すること～」(ケアマネジャーと地域包括職員がシンポジストになり、フロアーの参加者(病院職員含む)と意見交換)「診療報酬改定と地域差」(事務次長からレクチャー)	①13人 ②13人 ③48人 (外部27人+病院職員21人)	①H29.8.15 ②H29.11.21 ③H30.3.20

【取組みを実施して感じられる成果】

○上記懇談会を通じて、往診・訪問診療を行っている医師が認識している在宅医療推進の課題は、認知症患者の日中・夜間帯のバックベッド体制の整備や、在宅医の診療で点滴が大きな負担になっていること、エンディングノート等の必要性や患者情報共有における課題など、実際の臨床での現状を病院医師と診療所医師で共有できたことは大きな成果であった。

○ティータイムセミナーは3年前から毎年3回程度行っている。今年度第3回めは、3年間のまとめとして、開催してきたセミナーで役に立ったことや、病院に対して期待していることをケアマネから大勢の病院スタッフの前で話しをしてもらい、参加者と意見交換することで具体的な改善策につなげることもできた。

【平成30年度の実施予定】

第2回在宅医療推進懇談会の実施は未定。
ティータイムセミナーは今年度も3回程度開催予定だが日程は未定。

在宅医療等についての理解や知識・スキルの向上について

団体名：市立吹田市民病院

【平成29年度の取組み】

企画担当部署	取組み名	対象	内容	参加人数	開催日
呼吸ケア委員会	吹田呼吸ケアを考える会	地域の医療機関	呼吸器疾患患者の在宅での看護・ケア・リハビリの実際を講演し参加者とディスカッションを行う。	39人	H30.3.29
吹田在宅ケアネット	「橋を架ける、橋をわたる～それぞれの立場を知り隔たりを越える～」	地域の医療機関・市民	事例をとうして各職種がそれぞれの立場で行うことを考える	51人	H29.9.9
看護局(医療相談室)	院内退院支援研修	ケアマネ・訪問看護ST・地域包括支援センターなど	院内の退院支援研修に地域から参加していただき退院支援に必要なことは何かをフリートークで語り合う	15人 (院外)	H29.11.7

【取組みを実施して感じられる成果】

病院サイドは在宅の実際を知ることができ、在宅へつなぐために必要なことを考えることができる。在宅側にも病院の実際を知っていただく機会となる。

【平成30年度の実施予定】

平成31年1月ごろに、在宅医療についての講演を検討中
呼吸ケアを考える会での講演もしくは研修会を検討中